

Tenable、業界初の革新的機能拡張

「Predictive Prioritization (優先対応脆弱性予測機能)」提供開始

～データ・サイエンスに基づく機械学習アルゴリズムで攻撃を受ける可能性のある脆弱性を事前に検知～

※本リリースは 2019 年 2 月 11 日(米国時間)に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。原文は下記 URL を参照ください。

<https://www.tenable.com/press-releases/tenable-announces-general-availability-of-industry-s-first-predictive-prioritization>

企業の様々な情報資産の脆弱性を手間なく自動で可視化、改善するソリューションを提供する『Tenable Network Security』(以下:テナブル、所在地:メリーランド州コロンビア、代表:Amit Yorán (アミット・ヨーラン))は、企業の脆弱性対策としては業界初となる「Predictive Prioritization」の提供を発表しました。「Predictive Prioritization」は、全体の脆弱性のうち 3%を占めるとされている、今後 28 日以内にエクスプロイトされる可能性が非常に高いと想定される脆弱性を事前に検知し、企業のビジネスリスクを低減させるものです。革新的なこの機能は、テナブルのオンプレミス型脆弱性管理プラットフォーム「Tenable.sc™」(旧「SecurityCenter」)において、提供を開始します。

脆弱性を効果的に優先順位付けすることは、サイバー・セキュリティの基本です。しかし、脆弱性のボリュームが増えていることから、どの情報資産が最大の脅威にさらされているかを知ることは困難になっています。脆弱性情報データベースによれば、2018 年だけでも 16,500 件の新しい脆弱性が発見されましたが、サイバー攻撃の対象となったのは、ごく一部だけでした。この脆弱性の氾濫により、企業は効果的にリスクを測定・管理し、低減させることができなくなっているため、ビジネスリスクに直結する脆弱性を特定することが難しくなっています。

「Predictive Prioritization」は、この非常に深刻な問題に対応しています。それは、テナブルの脆弱性データを第三者機関の脆弱性データ、および 150 のデータソースから得た脅威情報と統合し、独自の機械学習アルゴリズムにより分析を行うことで、今後 28 日以内に起こりうる脆弱性を予測することができます。全体の 3%を占めるとされている、過去に攻撃を受けた、または受ける可能性が非常に高い脆弱性に集中することで、企業は初めて脆弱性の是正を事後対策から予測対策に進化させることができます。現代の脆弱性管理において、この脅威中心型の管理モデルを意識することが非常に重要であることから、テナブルは、脆弱性管理プラットフォーム製品のコア機能として、「Predictive Prioritization」を新たに開発しました。

【米国テナブル社 Renaud Deraison 氏 (最高技術責任者・テナブルの共同創始者) のコメント】

「Predictive Prioritization は、脆弱性管理における非常に大きなイノベーションです。企業は、脆弱性を管理する上で、どの脅威を重点的に対策すべきかが分かるため、新たな視点からの脆弱性管理が可能になります。Predictive Prioritization は、脆弱性管理市場では前例のないもので、脅威の全貌を把握することで、“どこ”が攻撃され、“どの”脆弱性を優先すべきかというサイバー攻撃を克服する鍵となる二つの根本的問題において、企業をサポートすることができます。」

「Predictive Prioritization」は、オンプレミス型脆弱性管理プラットフォーム「Tenable.sc 5.9」において提供を開始します。クラウドベース型脆弱性管理プラットフォーム「Tenable.io®」においては、2019 年後半に提供を予定しています。

詳細リンク: <https://www.tenable.com/predictive-prioritization>

【米国テナブル社プロフィール】

Tenable Network Security は、世界中の 27,000 社を超える組織に対し、総合的なセキュリティソリューションにより、将来のビジネスニーズに合わせてそのテクノロジーを変革し、組織組織の情報保護に向けた有効的な対策を提供しています。Nessus®を開発した Tenable は、脆弱性対策の技術をさらに発展させることで、あらゆる情報資産やデバイスの脆弱性を管理、保護できる世界初のセキュリティプラットフォームを展開。Tenable のセキュリティプラットフォームは、大規模行政機関ならびに、米国ビジネス誌 Fortune が選定する『Fortune 500』(総収入に基づいた全米上位 500 社)に選ばれている組織の 50% 以上、世界の有力組織 2000 社の 25% 以上に導入されています。詳細は tenable.com へ

【米国テナブル社企業概要】

商号: Tenable Network Security
代表: Amit Yoran アミット・ヨーラン
住所: 7021 Columbia,
Gateway Drive Suite 500 Columbia,
MD 21046

【テナブル社企業概要】

商号: Tenable Network Security Japan K.K.
住所: 東京都千代田区丸の内 2-3-2
郵船ビルディング 1 階